

三田村武夫 みたむらたけ 評論家、政治家。明治二十一年八月十一日岐阜縣
生れ、昭和二十九年十一月二十四日没（六九一―九六）。號天蓋。昭和
二年内務省警務講習所卒。岐阜縣警、内務省警保局、拓務省管理高動
務を経く、十一年衆議院議員。この間中野止剛を知り東方會運動に参
劃。次に警務選挙に當選も、十八年出版法違反で下獄。二十七年獨り
自由連盟を組織、翌年自由黨入黨。二十年の總選挙に當選し、自由民
主黨組織總局長と務める。

著書『知らぬば しらぬば 現代青年の常識』(昭和七年)二月二十一日報國社、
『中野止剛は河政自刃したか』(昭和十五年一月十五日武蔵野出版
社)、『中野止剛は生きている』(合著・止剛会編、昭和二十九年八月
一日あけぼの社)等。

